

開催日時 平成23年11月18日(金)  
17:00~18:45  
会場 津山圏域雇用労働センター2階  
第2会議室

## 一般社団法人岡山県古民家再生協会の会 第8回定例会

1. 開会
2. 出席者の確認 後藤 池上 千代延 上山  
オブザーバー 福富建設：安東様 5名
3. 議事録作成人の指名 池上
4. 前回議事録の承認 承認
5. 資料の確認 次第・古民家鑑定士通信11月号・津山市景観整備委員会会議資料(回覧)
6. 理事長挨拶 後藤
7. 報告事項
  - 古民家鑑定士11月号：広島再生協会の「高野かやぶき大作戦」の紹介
  - 「津山市町並み保存景観整備委員会の開催」：美作大学建築学科教授・奈良文献・観光協会会長など7名での構成、後藤理事長は城東地区(重点保存地区)の代表としてこの委員会の委員を委嘱。現在市では、町並み保存重点地区を指定し古い町並みの修景に補助金を付けて保存に務めているが、個人の住宅に対して強制力は無く空き屋・更地が急増している。今後この委員会にて津山市に「景観法」を制定してゆく。(倉敷・京都などの法律を制定する)
  - 耐震無料診断……「毎月限定1棟古民家無料耐震診断」をマスコミプレスリリースしたが取材等は無かった。
8. 協議事項
  - 「限界耐力計算」岡山県内普及について
    - ・第22回津山城東むかし町での「古民家無料耐震相談会」の開催について
      - \*当日の様子・来場者の反応について
      - このイベント来場者は毎年3万人を超えている。後藤理事長はこのイベントの副実行委員長の為「相談会」には参加は出来なかった。反応としては非常に芳しくなくパネルを見る程度で相談者は無かった。
    - ・今後のマスコミプレスリリース・「限界耐力計算」普及・啓蒙について
    - ストレートな相談会や聞き慣れない「限界耐力計算」を前に出さず、プレスリリースでは公共性・社会性を前に出した企画を検討してゆく(地元建築学科の高校生の古民家再生見学会等)
    - また、ひとの集まりやすい企画(高野かやぶき大作戦など)を古民家をキーワードに今後企画してゆく。集客→ふれ合い→マスコミ→……とステップ(段階)を踏んでゆく。
9. 次回開催日 12月 16日(金) 17:00~ (毎月第3金曜日)  
会場は津山圏域雇用労働センター 1階 第1会議室  
\*例会終了後 「忘年会」
10. 閉会